

## 令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立富士特別支援学校 富士宮分校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	47名

### 1. 使用状況

寄贈物品名	レーザー彫刻機
使用学年及び人数	自主生産作業 クラフト班 10人
使用頻度	週に1～2回
使用状況	自主生産作業(クラフト班)の作業の時間に使用
物品の使用による 変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった製品に分校のロゴをレーザーで入れることで、製品の価値が上がった。また、ロゴを入れることで製品に対する責任感が生まれ、プライドをもって製品作りに取り組んでいる。</li> <li>・イラストや写真等もレーザーで彫刻できるので、分校のロゴ以外の活用度が高い。</li> <li>・サイズが変更できるので、レーザー彫刻をしたいものによって柔軟に対応できる。</li> <li>・使い方が分かりやすく、簡単のため、生徒が抵抗を感じることなく扱っている。また、一つの仕事として取り組めるので、作業内容を増やすことができた。</li> </ul>
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮革製品だけでなく、木工班の木製製品へのレーザー彫刻も可能であるため、学校のロゴのついた製品の広がりや、学校としての責任感、製品の価値を高めることができる。</li> <li>・自主生産作業の製品へのレーザー彫刻という場面に限らず、学年や学校として活用の幅を広げられる。</li> </ul>
その他 希望や所感など	

## 2. 活用の様子



タブレット操作で、簡単に情報を変更できるので、製品の大きさに応じたロゴをレーザー彫刻ができる。プレビューで確認もできるので、生徒も安心して操作することができていた。



R7年度に販売するクラフト班の製品に入れたロゴ。

